

# 日本経済新聞

2018年7月8日（日）

検索欄、株価、記事

トップ 経済・政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際・アジア スポーツ 社会 地域 オピニオン 文化 マネー ライフ

朝刊・夕刊 日経会社情報 人事ウォッチ Myニュース

マーケット > 株式 > マーケットニュース > 記事

## マーケットニュース

### ポピュリズム財政試算（大機小機）

2018/7/6 16:30

保存 共有 印刷 共有 共有 共有 共有 共有

政府は2018年1月に、中長期の経済財政試算を示した。これは高齢化社会に向けた社会保障改革の検討の際に大きな前提となる。この試算では、基礎的財政収支（プライマリーバランス、P B）の黒字化の達成時期は27年度。17年7月時点の試算より2年遅れるとみている。しかし、先送りすれば、本当に財政再建が達成できるだろうか。

27年のP Bの黒字化は、過去2年間の平均が1.4%だった名目成長率を、長期的に3.5%に高める理想的ケースを前提としている。第1の疑問は、生産性を大幅に向上させる制度や規制の改革なしに、そうした高成長が実現できるのかという点だ。

第2は、P Bが黒字化する以前に、先進国でもっとも高い公的債務の国内総生産（GDP）に対する比率が自然と低下するミステリーである。これは分母のGDPが高成長する一方、長期金利が低い水準を続けるために分子の負債額はそれほど増えない、との前提に基づく。しかし、すでに完全雇用に近い状況で、経済成長率が加速しても物価や金利水準が安定したままなのはなぜだろうか。

目標年次の27年には、さすがに長期金利がGDP成長率を上回る想定となっている。そうなると債務のGDP比率が高まり続ける破綻ケースになるが、それは予測期間を超えるので知らないという。これが3つめの疑問だ。

過去にも政府の長期予測が楽観的すぎるとの批判はあったが、前提となる経済指標間の整合性がとれていないことはなかった。今回の試算の最大の問題点は、マクロ指標の都合のいい組み合わせを想定すれば、年金の支給開始年齢の引き上げなどの具体的な社会保障改革をせずとも財政再建が可能という、誤ったメッセージを与えることだ。

ちなみに、この内閣府の高成長・低金利のシナリオは、厚生労働省が描く「100年安心年金」の高金利・低賃金増加率のシナリオと正反対である。必要な制度改革を怠る口実に、各省がそれぞれ、自らに都合のいい長期予測を作成している現状が放置されている。

安倍晋三政権は長期安定を維持している。だがそれが、反発の大きい社会保障改革を先延ばしするポピュリズムの結果であれば、後に歴史の厳しい審判を受けるだろう。（吾妻橋）

マーケットニュースをMyニュースでまとめ読み

保存 共有 印刷 共有 共有 共有 共有 共有

< 電子版トップ < マーケットトップ

#### 関連キーワード

- 安倍晋三 ポピュリズム財政 厚生労働省 内閣府

#### 閲覧履歴

銘柄フォルダ

検索した業界・企業のリストがここに表示されます。現在表示する項目はありません。

日経業種分類から銘柄を探す >

NEEDS業種分類から銘柄を探す >

日経会社情報 適時開示 株主優待

「売れる」ヒントが詰まった市場トレンドをいつでもどこでも 日経MJビューアー 今なら8月末まで無料お試し！

- 注目の投稿 - 一覧 >

中空麻奈

BNPパリバ証券投資調査本部長

#### 米中貿易戦争過熱化か？

7月6日。米国政府が6月15日に、中国からの500億ドル相当の輸入品（知的財産権およびハイテク関連、自動車を含む）...

#### 6日の株式市場

##### ■時価総額（普通株式ベース）

東証1部 6,371,675億円
東証2部 97,878億円
ジャスダック 102,878億円

##### ■東証1部全銘柄の指標

連結 前期基準 予想
純資産倍率 1.28倍 --
株価収益率 14.15倍 14.60倍
株式益回り 7.06% 6.84%
配当利回り 1.70% 1.74%

##### ■株式市場データ

逆日歩 | 初値ギャップ | 新高値 | 新安値

会員向け新着情報【日経コンシェルジュ】 >

日経MJビューアーが今なら8月末まで無料！

最新の市場情報

※営業日はリアル更新

日経平均株価(円)	<b>21,788.14</b>	+241.15
日経平均先物(円) 大取,18/09月	<b>21,810</b>	+10
TOPIX	<b>1,691.54</b>	+15.34

類似している記事（自動検索）

- **中長期財政の「願望試算」**（2018/2/10付）
- **黒字化 逃げ水の試算 財政健全化、2年遅れる**（2018/1/24付）
- **財政黒字化、逃げ水の試算 問われる歳出抑制策**（2018/1/23 23:03）
- **今度こそ信頼できる財政健全化計画を**（2018/1/23 22:23）
- **内閣府、高成長でも20年度基礎収支8.2兆円赤字**（2017/7/18 22:54）

業績ニュース 株価材料 記者の目

- ・シカゴ日本株先物概況・6日（7/7 6:42）
- ・日経平均先物、夜間取引で上昇 10円高の2万1810円で終了（7/7 5:46）
- ・日本株ADR6日、買い優勢 LINEとオリックスが高い（7/7 5:12）
- ・株価指数先物・オプション大引け 先物が反発 プット売られる（7/6 15:40）

Facebook Twitter アカウント一覧

日経チャンネルマーケット

日経チャンネルマーケットでは、マーケット・経済専門チャンネル日経CNBCの番組をライブ配信。配信中の番組から注目のトピックスをお届けします。

鈴木亮の視界発行「2月期決算企業にみる光明」

7月6日（金）14:18



官房長官 米中追加関税「事態を注視」

改正民法が成立 相続で配偶者を優遇  
7月6日（金）13:00



[PR]

一覧はこちら

マゼース投資の魅力

バイオベンチャーをはじめ、爆発的な成長力を秘めた若い企業に投資できる市場



拡充される個人型DC

税優遇のメリットを徹底研究/資産形成応援プロジェクト年金編



宮本笑里さんにきく

「旅からも刺激は音楽活動にもつながります」ノルフトハンザ



資産形成応援プロジェクト

一緒に話そう、考えよう！お金のこと



金融経済初歩からの質問

高齢者にまつわる経済問題について教えてください【まなぼうQ&A】



- PR AIを活用した進化したBPOで企業の経営力を加速。企業事例も/日本IBM
- PR アメリカン・センチュリー・インベストメンツ (ACI) のご紹介/野村アセット
- PR 投資のプロが語る「先物・オプション取引」の魅力とは？/日本取引所グループ
- PR 「生産性上がる場所で仕事を」働き方検討会の委員も評価/オフィスパス
- PR 貿易戦争と株式市場 伊藤洋一氏の注目コラム【金融そもそも講座】

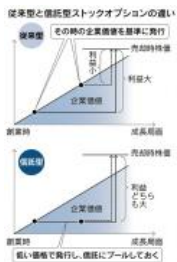
マーケットニュース 一覧

- 株式長者は目利き役 膨らむ富、成長分野に投資（6日 22:24）
- ポピュリズム財政試算（大機小機）（6日 16:30）
- トランプ氏とジャクソンの「付度」（十字路口）（6日 11:30）
- 自社が筆頭株主335社 消却やM&A、活用少なく（5日 19:30）
- 株、海外勢が2週連続売り越し 米通商問題警戒で・6月第4週（5日 16:57）
- 渋沢栄一に学ぶ（大機小機）（5日 16:30）
- 株、海外投資家が2週連続売り越し 2857億円・6月第4週（5日 15:46）
- 株売買、全社100株単位に 東証が10月移行完了（5日 12:30）
- 道半ばの持ち合い解消 事業会社間の削減に遅れ（4日 19:24）
- 裁定取引の現物株買い残、2カ月半ぶり低水準 6月29日時点（4日 17:00）

マーケットニュースをもっと見る

読まれたコラム

7/8（日）



「冷凍型」ストックオプション広がる

株式長者は目利き役 膨らむ富、成長分野に投資

ブラジルレアルが最も下落 景況感が悪化

株反発も警戒根強く 米中摩擦に「備えより逃げ」

「貿易戦争」に動けぬ円相場

業績ニュース

マーケットニュース

世界通貨番付

スクランブル

ポジション・フラッシュ

7/7（土）



浮かび上がるFANG、貿易摩擦も追い風か

株式長者は目利き役 膨らむ富、成長分野に投資

株反発も警戒根強く 米中摩擦に「備えより逃げ」

ブラジルレアルが最も下落 景況感が悪化

「貿易戦争」に動けぬ円相場

NY特急便

マーケットニュース

スクランブル

世界通貨番付

ポジション・フラッシュ

7/6（金）



「本丸」の航空機に迫る米中関税

武田、大阪本社ビル売却へ 創業の地・道修町

日立化成、データ改ざんの「間の悪さ」

米国債異変の謎

米中関税発動へ 市場関係者の見方

NY特急便

業績ニュース

記者の目

豊島逸夫の金のつばやき

NQNスペシャル

注目ランキング

検索急増	値上がり率	東証1部
1:エーザイ	1:エーザイ	+19.47%
2:パナソニック	2:レノバ	+16.39%
3:ぐるなび	3:トーセ	+15.64%
4:日本郵政	4:クスリアオキ	+14.84%
5:安川電	5:アイビーシー	+12.24%
6:太陽日酸	50位まで表示>	
7:村田製		
8:シャープ	値下がり率	東証1部